

9 同和地区を避ける理由と差別がなくなる理由－＜視点7＞

最後に、住宅を選ぶ際に「同和地区の地域内」あるいは「小学校区が同和地区と同じ区域」の物件は避けることがあると思うという人について、避ける理由と同和問題に関する差別意識がなくなる理由との関連を検討します。同和地区に対する忌避意識の要因を明らかにするためです。

(1) 同和地区を避ける理由

表 9-1 は、住宅を選ぶ際に、同和地区の地域内の物件、小学校区が同和地区と同じ区域になる物件それぞれについて、避けることがあると思うかどうかの回答別に避ける理由を挙げたものです。

表 9-1 同和地区を避けることがあると思うかと避ける理由

| | 1次の転居の際、 転売が難しかったり、 安く処分せざるを得 なかったりするから | 2生活環境や 言葉の文化の違い、 問題などでトラブル が多いと思うから | 3治安の問題など で不安がある と思うから | 4学力の問題などで 子どもの教育上、 問題があると思う から | 5自分もその地域 の住人と同じだ と思われると嫌 だから |
|---------------------------|--|--|-----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1同和地区の地域内である | | | | | |
| 避けると思う202人 | 105 50.2 | 135 64.6 | 153 73.2 | 77 36.8 | 75 35.9 |
| どちらかといえば避けると思う169人 | 64 37.9 | 88 52.1 | 109 64.5 | 34 20.1 | 36 21.3 |
| わからない93人 | 21 22.6 | 34 36.6 | 55 59.1 | 13 14.0 | 12 12.9 |
| どちらかといえば避けないと思う 87人 | 32 36.8 | 36 41.4 | 51 58.6 | 18 20.7 | 14 16.1 |
| まったく気にしない101人 | 35 34.7 | 46 45.5 | 60 59.4 | 13 12.9 | 26 25.7 |
| 合計659人 | 257 39.0 | 339 51.4 | 428 64.9 | 155 23.5 | 163 24.7 |
| 2小学校区が同和地区と同じ区域になる | | | | | |
| 避けると思う145人 | 72 49.7 | 99 68.3 | 110 75.9 | 61 42.1 | 53 36.6 |
| どちらかといえば避けると思う160人 | 66 41.3 | 85 53.1 | 105 65.6 | 37 23.1 | 37 23.1 |
| わからない88人 | 22 25.0 | 37 42.0 | 44 50.0 | 9 10.2 | 13 14.8 |
| どちらかといえば避けないと思う 125人 | 52 41.6 | 55 44.0 | 84 67.2 | 30 24.0 | 24 19.2 |
| まったく気にしない136人 | 44 32.4 | 59 43.4 | 83 61.0 | 18 13.2 | 33 24.3 |
| 合計654人 | 256 39.1 | 335 51.2 | 426 65.1 | 155 23.7 | 160 24.5 |

総じて、「避けると思う」人ほど、避ける理由として5項目いずれも選択している比率が高いのですが、とりわけ、「同和地区の地域内の物件は避けると思う」人のうち、「治安の問題などで不安があると思うから」という理由を72.1%の人が、「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」という理由を63.6%の人が挙げていることがわかります。「小学校区が同和地区と同じ区域になる物件は避けると思う」人の挙げている理由も、同様の傾向を示しています。のみならず、「避けると思う」という人ほど、他の理由についてもあげている傾向が高いことがわかります。

【知見】

- 「同和地区の地域内の物件は避けると思う」理由としては、「治安の問題などで不安があると思うから」、「生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」が多い。

(2) 差別意識がなくならない理由との関連

今度は、差別意識がなくならない理由との関連で、同和地区を避ける傾向を把握します。

表 9-2 同和問題に関する差別意識がなくならない理由×同和地区の地域内の物件を避けることがあると思うか

| 差別意識がなくならない理由 | | Q6問4.1同和地区の地域内である | | | | | 有意差 |
|--|---------|-------------------|----------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|-----|
| | | 避ける と思う | どちらかと いえば避 けると 思う | わから ない | どちらかと いえば避け ない と思う | まったく 気にし ない | |
| 問17.1.1結婚問題や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから | あてはまらない | 28.5 | 27.8 | 10.3 | 16.7 | 16.7 | *** |
| | あてはまる | 47.8 | 25.8 | 9.3 | 7.1 | 9.9 | |
| 問17.1.2差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから | あてはまらない | 40.1 | 27.7 | 9.4 | 11.6 | 11.3 | *** |
| | あてはまる | 19.8 | 24.2 | 12.1 | 18.7 | 25.3 | |
| 問17.1.3同和問題に名を借りて不当な利益を得ようとする、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから | あてはまらない | 30.7 | 22.4 | 12.6 | 17.7 | 16.5 | *** |
| | あてはまる | 42.6 | 32.5 | 6.7 | 7.2 | 11.0 | |
| 問17.1.4運動団体の一部活動家による不祥事などがあったから | あてはまらない | 36.2 | 25.7 | 10.5 | 13.8 | 13.8 | - |
| | あてはまる | 35.5 | 32.3 | 7.5 | 9.7 | 15.1 | |
| 問17.1.5マス・メディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから | あてはまらない | 35.8 | 27.1 | 10.6 | 11.6 | 14.9 | - |
| | あてはまる | 37.3 | 26.7 | 6.7 | 20.0 | 9.3 | |
| 問17.1.6運動団体による活動が、市民の共感を得られず逆に反感を招いているから | あてはまらない | 32.3 | 27.7 | 11.4 | 14.3 | 14.3 | * |
| | あてはまる | 47.8 | 24.8 | 5.3 | 8.8 | 13.3 | |
| 問17.1.7同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから | あてはまらない | 38.7 | 28.3 | 9.9 | 12.0 | 11.2 | ** |
| | あてはまる | 25.0 | 21.6 | 10.2 | 17.0 | 26.1 | |
| 問17.1.8いまでも同和地区の人だけ、行政から優遇されていると思うから | あてはまらない | 27.5 | 27.1 | 13.0 | 16.4 | 16.0 | *** |
| | あてはまる | 47.9 | 26.8 | 5.7 | 8.2 | 11.3 | |
| 問17.1.9同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから | あてはまらない | 35.9 | 27.0 | 10.6 | 13.3 | 13.3 | - |
| | あてはまる | 37.5 | 26.8 | 5.4 | 10.7 | 19.6 | |
| 問17.1.10これまでの教育・啓発の手法では、差別意識をなくすことに限界があったから | あてはまらない | 36.4 | 26.1 | 10.6 | 12.9 | 14.0 | - |
| | あてはまる | 34.5 | 31.0 | 7.1 | 13.1 | 14.3 | |
| 問17.1.11同和地区の人々の生活実態が、現在でも困難な状況におかれたままだから | あてはまらない | 36.2 | 26.7 | 10.2 | 12.9 | 14.0 | - |
| | あてはまる | 33.3 | 33.3 | 4.8 | 14.3 | 14.3 | |
| 問17.1.12差別をしてはいけないと規制する法律がないから | あてはまらない | 37.3 | 26.9 | 10.1 | 13.2 | 12.5 | * |
| | あてはまる | 23.1 | 28.2 | 7.7 | 10.3 | 30.8 | |
| 問17.1.13昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから | あてはまらない | 41.6 | 26.4 | 9.1 | 10.7 | 12.2 | - |
| | あてはまる | 32.0 | 27.4 | 10.5 | 14.7 | 15.4 | |

表 9-2 によると、差別意識がなくならない理由として、「1 結婚問題や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」、「3 同和問題に名を借りて不当な利益を得ようとする、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」、「6 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから」を選んでいる人びとは、住宅を選ぶ時に同和地区を避ける傾向が高いことがわかります。反対に、「2 差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから」、「7 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから」、「12 差別をしてはいけないと規制する法律がないから」を選んでいる人びとは、選んでいない人びとよりも、同和地区を避ける傾向が低いことがわかります。そして、既述の分析において、差別意識がなく

ならない理由としてこれらの項目を選んだ人びとは、相対的に人権意識の高い人びとであることがわかっています。

要するに、同和地区や解放運動に対して、マイナスのイメージをもっているほど、同和地区を避ける傾向にあると解釈してよいでしょう。